

作業療法室だより

平成 19 年2月

今回は、当院の作業療法士が利用者に提供している福祉用具を紹介します。

もっともよく提供しているのが、食事に関する福祉用具です。

食事は、栄養摂取のためだけではなく、生活の中の楽しみのひとつでもあります。だからこそ、食事にはストレスを感じないように、“安心して、安全に、楽に、楽しく”できるような様々な工夫が必要になります。座る姿勢、机の高さ、周りの環境、食事の形態、食器など、作業療法士が関わることはたくさんあります。

下は私たちが提供する福祉用具のひとつです。



お箸…手の細かい動作が困難な方、利き手ではない手でお箸を使う方に提供するのが、このお箸です。ピンセットのようになっていて、つまむ動作だけでつかむことができます。



スプーン・フォーク …指でつまむ動作が困難な方に提供します。柄の部分太くつかみやすくしたり(上)、つかむことが困難な場合にも手のひらに挟むことで使用できます(下)。



お皿・・・お皿を傾けることが困難な場合に使用します。お皿の縁の一箇所がやや高くなっています。ここに食べ物を集めることで、食べ物の多少・大小に関わらず、スプーンなどですくいやすくします。



すべり止めマット・・・お皿を固定することが困難な場合に使用します。スプーンなどですくう時に皿が動いてしまうとすくいにくくなるため、すべり止め用のマットをお皿の下やお盆の下に敷きます。



今回紹介したものはほんの一部で、他にも福祉用具はいろいろなものがあります。当院のリハビリテーション室の一角には福祉用具が展示しておりますので、実際に見て、触れていただければと思っております。



福祉用具展示棚